

寺澤孝太郎『大鷲の図』を寄贈いただきました

角館町出身の日本画家寺澤孝太郎が描いた『大鷲の図』(額装)を寺澤孝太郎のご子息である榮(さかえ)氏をはじめとするご遺族のご厚意により、平福記念美術館にご寄贈いただきました。

『大鷲の図』は孝太郎が昭和24年1月、東京上野松坂屋画廊で開催した生涯最後の個展に出品された作品です。

寄贈いただいたこの作品を多くの方に紹介したいと、当美術館で7月8日から30日まで展覧会を開催。あわせて、榮氏が長年に渡って大判カメラによる風景写真を撮っていること、また孝太郎の孫にあたる森田幸子氏が東京都民美術展(都展)会員として日本画を描いていることから、父子孫三代展として作品を飾り、父から子そして孫へと受け継がれた優れた芸術性の素晴らしさを感じられる展覧会となりました。



『鳥海まりも』 寺澤 榮 撮影



『歲月(角館・武家屋敷)』
森田幸子 作



寄贈された『大鷲の図』
寺澤 孝太郎 作



武家屋敷を見学する参加者

手をつなぐ育成会秋田県大会 武家屋敷を見学

知的障がい者やその家族、また事業所の職員他関係者700名が大仙市に集い、「ともに歩む地域社会の実現にむけて」を主題に、第49回手をつなぐ育成会秋田県大会が7月8日に開催されました。式典の後に行われたアトラクションでは、角館町芸能ボランティア連絡協議会の飾山囃子や新舞踊が披露され、大きな歓声が上がっていました。

午後の分科会社会見学コースでは、90名が角館に移動して武家屋敷石黒家と伝承館を見学しました。参加者は、武家屋敷地内の落ち着いた雰囲気を感じながら散策して角館を後にしました。

少年保護育成委員県南ブロック 地域カンファレンス

6月29日、仙北市角館の樺細工伝承館を会場に「県南ブロック地域カンファレンス」が開催されました。

地域カンファレンスとは、社団法人少年警察ボランティア協会と地域少年補導員(少年保護育成委員)連絡協議会の主催で行われる研修事業で、警察、PTA、学校など関係機関との連携・協力体制づくりなどの研修が行われるものです。

当日は、県南の少年保護育成委員約80人が参加。仙北市スクールカウンセラーで文教大学講師の秋山邦久氏による「ネット社会の中の少年」と題した講演の他、ボランティア「おはなしコンサート」(代表・小柳生子)の実践活動発表が行われました。また、長年にわたり少年保護育成委員として尽力された方々が秋田県警察本部長より表彰され、仙北市からは10年表彰として佐々木加奈子さんが受章されました。



講演をする秋山氏